

2019年2月20日

広東・香港・澳門大湾区の概要（仮訳）

広東省と香港、マカオの連携を深める「広東・香港・澳門大湾区」の開発は、「一帯一路の展望と行動」（Vision and Actions on Jointly Building the Silk Road Economic Belt and 21st Century Maritime Silk Road）や「第13次5カ年計画」など、中国による複数の国家戦略において重要な位置を占める。大湾区の都市クラスターは、香港、マカオと珠江デルタの9つの都市にわたる見込みである。この取り組みをさらに推進するため、中国国務院は2019年2月18日、「広東・香港・澳門大湾区開発計画要綱」（Outline Development Plan for the Guangdong - Hong Kong - Macao Greater Bay Area）を発表し、大湾区の開発計画を示した。



大湾区は、以下のような地域として戦略的に位置付けられている。(i) 世界水準の活気ある都市クラスター、(ii) グローバルな影響力を持つ、国際的なイノベーションとテクノロジーのハブ、(iii) 一帯一路構想の重要な支柱、(iv) 中国本土と香港・マカオの深い協力関係を明示する存在、(v) 生活・仕事・旅行のための優れた生活圏。

珠江デルタ地域の都市は、香港・マカオと密接に協力し、金融および社会管理セクターのさまざまなイノベーション政策において、早期段階やパイロット試験の支援を行う予定である。また、これらの都市では、世界水準の市場重視型のビジネス環境を確立し、地域全体でのヒト・モノ・カネの自由な移動を促進しつつ、経済の効率性、透明性および国際化の全体的な水準を高めることを目指す。さらに、大湾区は、中国本土の主要な経済成長エンジンの一つとして、中国の中南部と南西部を含む汎珠江デルタ地域の開発上の優位を生かし、一帯一路構想の推進において重要な役割を担う見込みである。

2017年7月1日、中国の習近平国家主席は、中国国家発展改革委員会、広東省、香港およびマカオの代表者による「広東省・香港・マカオ協力深化による大湾区建設推進枠組み協定」(Framework Agreement on Deepening Guangdong - Hong Kong - Macao Co-operation in the Development of the Bay Area) の調印式に出席した。枠組み合意の一環として、複数の重要分野が協力上の優先課題として指定された。重要分野には、インフラの接続性の向上、市場統合の改善、グローバルなテクノロジーとイノベーション・ハブの開発、協調的な開発を通じた現代的な産業ネットワークの確立、生活・仕事・旅行に適した街の模範となる優れた生活環境の共同育成、国際協力の分野における新たな資源の育成、ならびに大規模な協力プラットフォームの確立支援が含まれる。

香港にとって最も重要な目標は、グローバルなオフショア人民元ビジネスのハブ、国際的な資産運用センターおよびリスク管理センターとしての地位を強めつつ、国際的な金融・輸送・貿易センターとしての地位を強化・向上させることである。同時に香港は、専門サービスセクターの発展の促進と、革新的なハイテク産業セクターの強化を目指し、アジア太平洋地域全体の国際的な法務・紛争解決ハブとして自らを位置付けようとしている。